

# 県の変遷と唐津（明治～終戦まで）

～伊万里県だったこともある唐津～

分野 歴史

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

## ■佐賀県の沿革

「佐賀」の名称由来

日本武尊が御巡行の時、樟樹の栄え繁る有様を見られ、この国は「栄の国」と呼ぶがよからうとおっしゃった。その後「栄の郡」といい、改めて佐嘉郡と呼ぶようになった。（肥前風土記） 明治維新に至り、佐嘉庁で新政の一環として達示をもって「嘉」が「賀」に改められ今日に至る。本県は、もと佐賀・蓮池・小城・鹿島・唐津・対馬（対州厳原）の6藩にわかれて統治されていた。

明治 4年 7月	廃藩置県によって各藩に県が置かれた
明治 4年 9月	各県を合併して新たに伊万里県を伊万里に置いた
明治 5年 5月	伊万里県を佐賀に移して、佐賀県と改称した
明治 9年 4月	筑後の三潞県に合併された
明治 9年 5月	杵島・松浦の2郡を長崎県に移した
明治 9年 6月	藤津郡を長崎県に移した
明治 9年 8月	三潞県の廃止で、佐賀・神埼・基肄・養父・三根・小城の6郡も長崎県に属することになった
明治11年10月	松浦郡が東・西・南・北の4郡に分かれた
明治16年 5月	佐賀県を佐賀に再置した 佐賀・神埼・基肄・養父・三根・小城・東松浦・西松浦・杵島・藤津の10郡を所轄することになった
明治22年 4月	佐賀が市制施行、1市10郡となった
明治29年 3月	基肄・養父・三根の3郡を合併して三養基郡と改め、1市8郡となった
昭和 7年 1月	唐津が市制施行、2市8郡となった
昭和29年 4月	町村合併によって鳥栖・伊万里・武雄・鹿島が市制施行
昭和29年 5月	多久が市制施行、2市8郡となった
昭和33年 1月	切木村を廃し、平成16年末まで7市8郡（42町村）の歴史が続いた
平成17年 1月	唐津市（1市6町1村合併）、白石町（3町合併）が誕生した
平成17年 3月	小城市（小城郡内4町合併により市制施行）、みやき町（3町合併）が誕生した
平成17年10月	佐賀市（1市3町1村合併）が誕生し、8市7郡（23町村）となった。
平成18年 1月	七山村が唐津市に編入合併、嬉野市（2町合併により市制施行）が誕生した
平成18年 3月	武雄市（1市2町合併）、吉野ヶ里町（1町1村合併）、有田町（2町合併）、神埼市（2町1村合併により市制施行）が誕生し、10市7郡（13町）となった
平成19年10月	川副町・東与賀町・久保田町が佐賀市に編入合併し、10市6郡（10町）となり、現在に至っている (資料：佐賀県市町村課)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆佐賀県市町村課
- ◆唐津市
- ◆唐津市沿革

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)

◎エピソード・伝承・うんちく など

## ■廃藩置県により

唐津藩 ⇒ 唐津県 ⇒ 伊万里(唐津・厳木県) ⇒ 佐賀県 ⇒ 三潞県 ⇒ 長崎県 ⇒ 佐賀県  
明治4年7月14日 1871 明治4年11月14日 1871 明治5年5月29日 1872 明治9年4月18日 1876 明治9年8月21日 1876 明治16年5月 1883